



あさまる通信

第66号 平成19年1月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL <http://www.asamaru.com/>
e-mail info@asamaru.com

今年もありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。

餅つき

12月17日(日) 菊田公民館の入り口横で、農業サークル「自然を喰らう会」による恒例の餅つきが行われました。自然を喰らう会は、夏の「きくたこどもまつり」でお好み焼きやじゃがバターなど、サークルの畑で採れた作物を使った露天を開き、地域の催し物に積極的に参加しています。活動開始から約26年の長寿サークルで、会員は16世帯の夫婦や親子です。普段は鷺沼台の畑で無農薬の野菜を栽培しており、畑では季節ごとに色々な野菜が収穫され、会員にわけられています。



今回は15kgのもち米を3回に分けて、つき上げました。会員によると「餅をつくときには練りが一番大切。手を抜かないで練ると、キメの細かいなめらかな餅になります」ということでした。十分に練った後は、臼の中のもち米が温かいうちに力強く杵でついていきます。すると餅はまさに「もち肌」に出来上がりしました。つきたては伸びがよく柔らかいです。「ふっ息がある」相撲をしているみたいだ」と言いながら、みなさん楽しそうです。ペタン、ペタンと餅をつく音が響きます。「この音がいいんだよね。日本の正月が来

たって気がするよ」と話していました。つきあがった餅は調理室に持って行き、最初の10kgは「のし餅」に仕上げます。残りの5kgはアズキ、大根おろし、きなこ、くるみで味をからめました。

餅つきと平行して、調理室ではモツ煮込みとイモ煮が作られました。肉類とこんにやく以外は、みなさんの共同の畑で収穫された作物です。無農薬だけあって、味が濃く、甘い野菜です。イモ煮の里芋は「赤ズイキ」という赤い表皮で、煮物にするのとホクホクとする品種を使用しました。お待ちかねの試食タイムです。餅つきをした公民館脇にテーブルを出し、外で食べます。持ち寄りの自家製白菜漬けとキムチが、食欲をそそります。鍋いっぱいの煮込みを、おのの好きなように、よそいました。「少し遅い収穫祭！自分で栽培した野菜を自分で料理して、自分で食べる。収穫の喜びを仲間と分かち合うのが最高！」と盛り上がります。会員同士、野菜の栽培方法や保存法など意見を交換しながらの楽しい食事会となりました。



おせちの由来

もういづく寝るとお正月はお正月には欠かせない「おせち」ですが、その起源はあまり知られていません。古くは弥生時代とも平安時代とも言われています。しかし、庶民に定着したのは江戸時代の後半という説が多いようです。

「おせち」の語源は「お節共」で、宮中の行事からとっています。お節共とは節の日、つまり人日(1月7日)、上巳(3月3日)、端午(5月5日)、七夕(7月7日)、重陽(9月9日)の5節日に、神様にお供え祭ることです。宮中のしきたりが民間に広まり、正月のご馳走だけが「おせち料理」と呼ばれるようになりました。「おせち」を年末に作るのは、正月ぐらいいは女性を休ませるためとか、神様をお迎えしている間に煮炊きをするのを慎むという説

があります。保存性があり、汁が出ず、冷めてもおいしい料理が多いのは、理にかなっていると言えるでしょう。

では、おせち料理の意味はどんなものがあるのでしょうか？
○黒豆：まめまめしく(健康)に働けるように
○数の子：子孫繁栄
○昆布巻：養老昆布、よろこぶ
○鯛：めでたい
○栗きんとん：金団が金の塊という意味を持ち、商売繁盛・金運をもたらす
○酢バス：ハスには穴が多いことから、先を見通せる
と、語呂合わせから見た目まで、色々な意味を持ちます。基本的には無病息災・子孫繁栄などの願いが込められています。縁起がよいだけでなく、栄養的にもすぐれています。



黒豆は植物性のタンパク源で栄養価も高く、昆布には食物繊維やミネラルが多く含まれています。現在では、おせちの意味は薄れつつありますが、縁起を担ぐという気持ちは忘れて欲しくないものです。来年の干支はイノシシ。田畑を荒らすことがあるイノシシですが、「百姓のつくり神」と歌にもうたわれるとても大事な田の神・作物の神です。五穀豊穣をお祈りして、また来年お会いしましょう。よいお年を…。

あさまるinfo

◆年末年始の燃えるゴミの収集

収集地域	年末最終日	年始開始日
月・水・金曜日	12月31日(日)	1月5日(金)
火・木・土曜日	12月30日(土)	1月4日(木)

◆谷津コミュニティセンター ミニコンサート

日時：平成19年1月13日(土) 午後1時30分
場所：谷津コミュニティセンター 多目的室
出演：谷津小学校管弦楽クラブ98名
指揮：富田政芳先生
曲目：「弦楽のための三楽章」第一楽章、「くるみ割り人形」より花のワルツほか
入場：無料

◆新習志野駅前商店会 駅前フリーマーケット出店者募集

日時：平成19年2月4日(日) 午前10時～午後4時(雨天中止)
場所：新習志野駅前メルクス新習志野モール内
募集数：35区画(飲食除く)応募多数の場合は抽選
出店料：2,000円(1区画：2.5m×2m)
駐車場1台500円(メルクス新習志野駐車場の指定場所)
申込先：習志野市商店会連合会「新習志野駅前フリーマーケット係」
〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12 サンロードビル6階
電話 047-455-1955

申込方法：往復ハガキに住所・氏名・電話番号・FAX・主な出品物を明記して、上記の申込先まで郵送して下さい。

締切日：平成19年1月25日(木) 必着

◆習志野七福神巡り

東福寺(恵比寿) 谷津2丁目
慈眼寺(大黒天) 鷺沼3丁目
西光寺(毘沙門天) 谷津1丁目
薬師寺(弁財天) 大久保1丁目
正福寺(布袋尊) 藤崎2丁目
東斬寺(福祿寿) 津田沼4丁目
無量寺(寿老人) 実粕2丁目

